

ここすき！特別企画 幼稚園に行ってきました！

国立学園附属かたばみ幼稚園 幼稚園訪問インタビュー

かたばみ幼稚園は昭和 29 年に開園。中地域の閑静な住宅街の中に位置し、園庭にも、隣接する国立学園小学校にも、樹木が多く、この時期は赤や黄色に色づいた木々に囲まれ、自然環境に恵まれた幼稚園です。

国立の町の開発の際に携わった西武グループの堤康次郎氏が創立したため、開園当初は西武関連企業に勤務する人のお子さんが多く通い、古くなった西武線の車両を園舎代わりに使用していたということもあったそうです。国立学園附属という名の通り、幼・小の連携を行っており、6～7割は、国立学園小学校に入学しているとのこと。 |



↑かたばみ幼稚園園舎



↑西側園庭

教育目標

豊かな人間性を培う

自ら気づき、考え、行動しながら、やさしく、たくましく、かしこく生き抜く力を身につけた子どもを教育実践で目指しています。

集団生活の中にあっては、ひとりひとりが持つ「個性と創造性」を発揮し行動できる子ども。個を大切にしながら「協調性と愛情」をもって友だちと接し行動できる子ども。これがかたばみ幼稚園の願う具体的な目標です。

日常の保育の中での“課題保育”をメインの活動にしており、制作や、外で身体を動かすこと、お遊戯会の練習など・・・毎日、30分～40分程度の時間を2回ほど、全員でしっかりと話を聞き、取り組む時間としています。また、自由遊びの時間も設け、バランスを取っているそうです。あくまでも、子どもの自主性を大切に、大人が「～させる」のではなく、子どもの気づきや自ら学び取るということを大切にしているとのこと。体育や制作などに取り組む際も、外部講師に依頼するのではなく、幼稚園の教師が直接指導をしているそうです。降園後に行っている体操教室、サッカー教室には、外部の講師を呼んでいますが、かたばみ幼稚園の教育方針を熟知している卒園生が来てくれているとのこと。どの場面でも子どもへの働きかけが一貫しているということ。

感じました。

小学校受験をするお子さんもあり、受験のための厳しい幼稚園というイメージを持たれがちですが、決してそのようなことはなく、受験をしたとしても、学校に行ったときに伸びていけることが第一であり、手間隙をかけ、常に考えるということ大切に、あくまでも将来にわたっての子どもの心の成長を大切に考えているとのことでした。

訪問した時期は、ちょうどお遊戯会が近く、それに向けて各クラスで練習している子ども達の姿に出会いました。年長児のペープサート劇は、何も無いところから子ども達がみんなで「あぁしよう」「こうがいい」と意見を出し合い、ストーリーを創りあげていくので形にするまでに時間がかかるそうです。



ここでも、大人が「～させる」でなく、子ども達自身に考えさせるということを実践されていました。

国立市外から通っているお子さんも多く、園バス通園は行っていません。車での通園もOKとし、送迎は保護者にしてもらっているので、登園時、降園時に保護者と直接顔を合わせ、子どもについての情報交換ができるとのことでした。保護者の中には、早期教育を求める人や、マニュアルにこだわって、常に答えを求めてくる人が増えているそうですが、子育ては決まった答えがあるものではなく、一人ひとりの子にふさわしい関わりがあるのだということ、(大人は)出すぎない、教えすぎない、待つということ、機会あるごとに保護者にお話しているとのことでした。

保護者の事情に合わせ、午前7:30から午後6:30までの預かり保育を実施していますが、長い時間を過ごす子どもの気持ちに配慮し、4年前にきらきらハウスという施設を作りました。遅くまで残る子どもたちも、場所が変わることで気持ちを切り替えて過ごすことができているそうです。そうした子どもへの配慮ができるのも、ゆとりのある敷地があったからこそできたことです。



お遊戯会は、隣の小学校の体育館を使って行うそうで、そちらも見せていただきましたが、木のぬくもりのある体育館でした。また、そこを建設する際に切らざるをえなかった桜の木を使って、保護者の方が製作した彫刻が飾られており、自然に対する尊敬の気持ちを子ども達に伝えているとのことでした。

児玉園長先生は、国立学園小学校の教員からスタートし、小学校の校長に就任すると同時に、かたばみ幼稚園の園長を兼任されたそうです。

幼稚園児はもちろんのこと、約700名いる小学校の児童のほとんどの名前を覚えているとのこと、日常的に、子ども達との関わりを大切にされていることがよくわかりました。



屋上から周囲を見渡すと、自然豊かな環境であることがよくわかります。隣の小学校の校庭では、どんぐりがたくさん落ちるので、園児たちもどんぐり拾いを充分楽しみ、工作などを楽しんでいるとのこと。

また、小学生になると、校庭の木に木登りすることが許されるそうで、いちよこの木の上から見える景色はどんなに素晴らしいだろうと、うらやましくなりました。



ポストがある園庭

※幼稚園のホームページは市役所ホームページからご覧になれます。

国立市ホームページ→子育て支援ページ→子どもを預ける→幼稚園→国立市幼稚園等一覧